

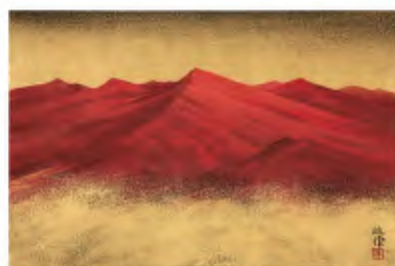
関口雄揮展

(1923-2008)

- 1923年(大正12年) 埼玉県に生まれる
- 1942年(昭和17年) 東京美術学校(現・東京藝術大学) 日本画科入学
- 1943年(昭和18年) 戦況の悪化により学徒出陣 旧・満州へ出征
- 1945年(昭和20年) 終戦後復学し、安田靫彦に学ぶ
- 1948年(昭和23年) 東京美術学校日本画科卒業 如水と号する
- 《晩秋呼冬》で日展(日本画部)に初入選
- 1950年(昭和25年) 昭和25年度日本美術協会高松宮 総裁賞を受賞
- 1952年(昭和27年) 戦後初の文部省給費留学生として渡仏 アカデミー・ランソンに入学
- 1954年(昭和29年) 帰国。この頃東山魁夷に師事する
- 1961年(昭和36年) 雄輝と号する
- 1968年(昭和43年) 東山魁夷の皇居新宮殿障壁画制作に際し助手を務める
- 1972年(昭和47年) 初めて北海道を訪れる
- 1976年(昭和51年) 日展の落選を機に静岡県三島市・龍潭寺に修行に入る
- 1977年(昭和52年) 冬の北海道を題材とした《凍原》を制作。これ以後、北海道の自然を描き続ける
- 1979年(昭和54年) 《白い枯野》で日展特選受賞
- 1983年(昭和58年) 《雪原》で日展特選受賞
- 1989年(平成元年) 日展審査員選出
- 1990年(平成2年) 紺綬褒章受章。日展会員
- 1995年(平成7年) 第17回日本秀作美術展出品 京都・永観堂(禅林寺) 画仙堂の障壁画制作に着手
- 1996年(平成8年) 第18回日本秀作美術展出品 (第19回、第21回も出品)
- 1998年(平成10年) 画仙堂障壁画《浄土变相図》を完成、奉納
- 2003年(平成15年) 永観堂釈迦堂襖絵《二河白道因水火の絵》を奉納
- 2004年(平成16年) 障壁画制作のためインドへスケッチ旅行 永観堂釈迦堂障壁画《菩提樹》《沙羅双樹》を奉納
- 2005年(平成17年) 関口雄輝記念美術館(北海道札幌市)開館
- 2008年(平成20年) 心不全のため死去



霧裡の樹 関口雄揮



雪峰 関口雄揮



山菊 関口雄揮



アクセス
 ●JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ 伊予鉄/バス北条行き(内宮/ス南)、又は(花見橋/ス南)下車 徒歩約10分
 ●松山空港より約11km ●松山・Cより約16km ●今治・Cより約35km

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
 TEL089-978-6838 FAX089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>
 E-mail:miurart@miuraz.co.jp

駐車場:30台と 休日は臨時駐車場(三浦工業角 駐車場約250台)をご利用いただけます。

次回展覧会

2015年12月23日(水・祝)→2016年1月31日(日)

M.コレクション展Ⅻ

2015年 11月1日 > 12月13日

休館日:月・火曜日(祝日は開館)
 開館時間:午前9:30~午後5:00(入館は午後4:45まで)
 入場料:一般600円(前売り400円)、高大生300円、中学生以下無料
 ※65歳以上の方は年齢確認ができるものをご提示いただければ一般料金の半額となります。
 ※障害者手帳をご持参の方はご本人と同伴者1名様まで各料金の半額となります。
 主催:ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)
 協賛:株式会社ミウラ
 後援:愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、南道放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛
 作品:石国山(部分) 松山商工会議所蔵

自然と四季との対話

MIURART VILLAGE
MIURART

関口雄揮展

関口雄揮展

自然と四季との対話

このたびミウラート・ヴィレッジでは、「自然と四季との対話 関口雄揮展」を開催いたします。

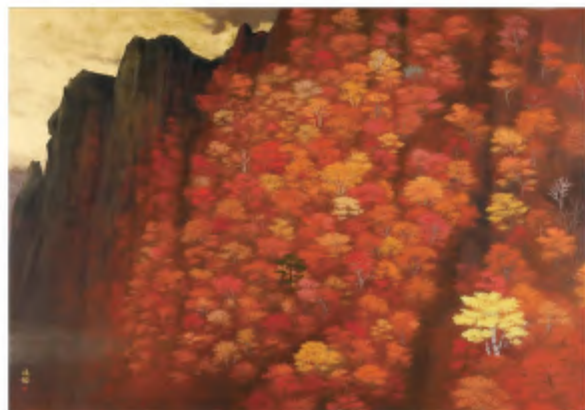
関口雄揮(1923—2008、埼玉県出身)は幼少の頃より画家を志し、東京美術学校(現・東京藝術大学)日本画科で日本画を学びます。卒業後は親交のあった東山魁夷に師事、将来を嘱望される画家として戦後の日本画壇に立ちました。山野の自然を多く描いていますが、特に北海道の風土に密着した風景を描いた作品で好評を博しました。今展では、北海道の風景を中心に約30点を展示し、関口雄揮の幻想的な世界をご紹介します。



シロベツ原野 関口雄揮蔵



盛秋 個人蔵



石鐘山 松山商工会議所蔵



雨後 個人蔵



雪山見ゆ 三溪洞蔵



川 個人蔵